

**「東京貿易グループ連邦経営」
新たな成長へ**

Active all over the world.



TOKYO BOEKI GROUP

東京貿易グループ

第 98 期 事業報告書

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日

Active all over the world.

東京貿易グループは、「創業の三精神 (TOMAS精神)」及び「経営理念」を受け継ぎ、独立系の事業創造型企業グループとして、“東京貿易グループ連邦経営”を展開しております。

創業の三精神 (TOMAS精神)

1. 困難に打ち克ち努力する精神
2. 開拓者精神
3. 全員経営の精神

経営理念

東京貿易グループ各社は、一人ひとりが仕事を通して夢を実現でき、創造性豊かな会社になる。一人ひとりが誇りをもち、世界に貢献する会社になる。

シナジー効果を生み出す

「東京貿易グループ連邦経営」



HEADQUARTERS

東京貿易ホールディングス株式会社



エネルギー・機械産業グループ

東京貿易マシナリー株式会社
東京貿易エンジニアリング株式会社
東京貿易メカニクス株式会社



技術・自動車・情報産業グループ

東京貿易テクノシステム株式会社
テービーテック株式会社
TOKYO BOEKI NORTH AMERICA, INC.
TBTS (THAILAND) CO., LTD.
東京貿易技研 (広州) 有限公司



医療・生活・科学産業グループ

株式会社ティービーアイ
東京貿易メディシス株式会社
TOKYO BOEKI (RUS) LTD.



資材・資源・鉄鋼産業グループ

東京貿易マテリアル株式会社
TOKYO BOEKI (AUSTRALIA) PTY. LTD.
東京貿易 (中国) 有限公司

株主の皆様へ

売上高

44,900 百万円
(前期比 5.8% 増)

営業利益

3,970 百万円
(前期比 8.8% 増)

経常利益

4,162 百万円
(前期比 5.0% 増)

親会社株主に帰属する 当期純利益

2,812 百万円
(前期比 39.2% 増)



代表取締役社長 加藤 三四郎

株主の皆様におかれましては日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第98期(2017年4月1日～2018年3月31日)の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2017年度における世界経済は、政治・地政学リスクの高まりや世界貿易の枠組みの変化などから、先行きの不透明感が強まる中、全体としては緩やかな成長が続きました。米国経済は、雇用環境の改善を受けて個人消費が拡大基調を維持し、企業業績においても幅広い業種で改善を見せるなど、総じて堅調に推移しました。また、欧州経済は、景気回復ペースに国ごとの格差はあるものの、総じて緩やかな拡大基調となりました。中国経済は、好調な輸出を中心に堅調な内外需要に支えられ、総じて安定的に推移しました。

わが国経済は、米国・欧州の政治混乱や北朝鮮情勢の緊迫化などのリスクに晒されながらも、輸出や設備投資の増加による堅調な企業業績に牽引され、雇用や所得環境などが改善し、緩やかな回復基調が続きました。

このような内外の経営環境の中、創立70周年を迎えた東京貿易グループにおきましては、「エネルギー機械産業」「技術・自動車・情報産業」「医療・生活・科学産業」「資材・資源・鉄鋼産業」の4グループにおいて、マーケティングから製造、販売、メンテナンスまで一貫して専門性の高い独自の事業・サービスの提供を通じ、企業価値の最大化と永続的な成長発展の実現に努めてまいりました。

この結果、当期の売上高は449億円(前期比+5.8%)、経常利益41億62百万円(前期比+5.0%)、親会社株主に帰属する当期純利益は28億12百万円(前期比+39.2%)と、前期に比べ増収増益となり、経常利益は過去最高を更新しました。

期末配当金につきましては、既存事業ならびに新規事業への積極的な投資のための内部留保を確保する一方、株主の皆様への継続的な安定配当を基本とするため、普通株式1株につき30円とさせていただきます。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月

セグメント別情報 (%は売上高構成比)



エネルギー機械産業グループ



売上高 12,907 百万円 (前期比 105%)

営業利益 1,662 百万円 (前期比 82%)



技術・自動車・情報産業グループ



売上高 6,925 百万円 (前期比 99%)

営業利益 538 百万円 (前期比 94%)

■ 事業内容

電力・ガス・石油・石油化学など、エネルギー関連業界向けに流体荷役機械および関連機器、ガス関連各種機械、発電関連機器・装置、環境関連機器などの開発・製造・販売を行っています。主力の流体荷役機械は、東京貿易マシナリー(株)と東京貿易エンジニアリング(株)の製販一貫体制のもと、優れた製品を世界中のユーザーに提供し、高い評価を得ています。

■ 事業概況

主力のローディングアーム事業において、国内では新設工事の売上減をメンテナンス案件の受注確保で補いましたが、海外ではコスト競争激化により新規受注が伸び悩みました。水素事業、吸着式冷凍機、船用ORC発電システム等の新規事業取り組みへの先行投資を実行した結果、当グループとしては、増収減益となりました。

■ 事業内容

主力製品である三次元測定機は、様々な製品の開発造形から製造、検査、完成までの一連のプロセスにおける計測およびデータ処理作業を総合化して提供し、主に自動車メーカーの製品開発力の向上に貢献しています。三次元測定機は、自動化、精密化、そして多様化へと進化を遂げ、世界的評価を得ています。

■ 事業概況

主要顧客である自動車関連企業において、電動化・自動運転技術などの新技術への投資負担が高まったため、主力の三次元測定関連機器への投資が抑制される厳しい状況が続きました。対応策として同測定機新製品の市場投入を順次進めたほか、モデル加工機の販売強化・海外市場開拓により年度後半には改善が見られましたが、当グループとしては、減収減益となりました。



医療・生活・科学産業グループ



売上高

15,554 百万円 (前期比 109%)

営業利益

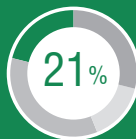
2,685 百万円 (前期比 136%)

■事業内容

セキュリティ機器、医療機器、理科学機器など、多岐にわたる製品の開発・製造・販売を行っています。とくに、セキュリティシステム事業では、海外の監視カメラを中心としたセキュリティ機器を厳格な品質管理のもと、現地調査からシステム設計、提案・見積り、施工、修理・メンテナンスまでのトータルサービスで国内市場に提供しています。また、医療機器分野においては、小型の臨床検査用自動分析装置が世界約80カ国で販売されるなど、優れた実績を誇ります。

■事業概況

主力のセキュリティシステム事業において、高度化・多様化する市場ニーズに対応し、TB-EYEブランドをベースとして、システム提案から設計、設置、アフターサービスに至るまでのトータルサービスの展開を図ったことにより、売上・利益とも順調に拡大しました。医療関連分野においては、臨床用小型自動分析装置の最新機種を中心に、関連製品である臨床検査情報システムを含めた国内販売が、堅調に推移しました。ロシア・CIS関連事業においては、産業用機械などの販売拡大を通じて業績が回復しました。この結果、当グループとしましては、増収増益となりました。



資材・資源・鉄鋼産業グループ



売上高

9,510 百万円 (前期比 108%)

営業利益

190 百万円 (前期比 70%)

■事業内容

独自の事業モデルのもと、製鉄原料・副原料、製鉄用耐火煉瓦などを輸入し、製鉄業界に供給しています。また、自動車用鋼板をはじめとする各種鋼材は、海外の自動車メーカーにとって欠かせない原材料となっています。製鉄用耐火煉瓦は、中国の合併企業で製造し、当社の重要な輸入商材となっております。

■事業概況

主力の資材事業においては、中国における耐火物原料の需給逼迫が価格上昇につながり、売上が増加しました。鉄鋼事業においては、東南アジア向け建材用鋼材の取り扱いの拡大等を通じ、取扱数量・売上とも増加しました。一方で、豪州現地法人の事業撤退や資源事業におけるリン鉱石輸入取引の低迷が収益に影響し、当グループとしましては、増収減益となりました。

東京貿易グループ創立70周年記念式典および祝賀会開催



東京貿易グループは2017年10月30日に創立70周年を迎え、11月10日パレスホテル東京にて、「感謝と飛躍」をテーマとして記念式典・祝賀会が来賓OB、グループ社員約800名出席のもと執り行われました。

東京貿易ホールディングス株式会社のグループ最高顧問、社長および各グループ社長からの今後に向けた力強いメッセージを受け、社員一同、グループ全体が一致団結し、より飛躍していくことを誓いました。

※ なお、本イベントはグループ内行事として社員と来賓としてお招きしたOBのみで執り行いました。

東京貿易ホールディングス株式会社 グループ最高顧問メッセージ



東京貿易ホールディングス株式会社
取締役グループ最高顧問 町田 弘

創立70周年記念を迎えられること、本当にグループ全社員の皆さんの今日に至るまでの宮々としたご努力に心から感謝申し上げます。盛大な70周年記念式典を迎えられるのも、諸先輩並びに社員の皆さんが幾多の困難に果敢にチャレンジし、また会社の危機を乗り越えてくださったおかげと、今の心境を一言で言えば「感謝」、それ以外の言葉はありません。これを機に加藤社長のリーダーシップのもと、100周年を目指してさらに成長発展することを心から願うと共に社員、並びにご家族のご健康を祈念しまして、感謝の挨拶に代えさせていただきたいと思ひます。

東京貿易ホールディングス株式会社 社長メッセージ



東京貿易ホールディングス株式会社
代表取締役社長 加藤 三四郎

東京貿易グループは、これから100周年に向けて発展を続けなければなりません。そのためには相互尊重の経営が重要です。東京貿易ホールディングス株式会社を含めたグループ会社間ではもとより、経営陣と社員の関係においてもお互いに尊重し合うことで、グループ全体の発展に期すると考えます。

東京貿易グループを創業から40年率いた松宮康夫創業社長、その後30年を率いた町田弘グループ最高顧問、そして諸先輩、グループ社員のこれまでの努力に感謝し、今後も相互尊重の考えの下、困難を乗り越え、100周年に向けてさらなる飛躍を目指すことを誓いたいと思ひます。

水素事業へ本格進出！

東京貿易メカニクス株式会社

水素発生充填装置「シンプルフューエル」初導入



東京貿易メカニクス株式会社（以下、TMX）は、岩手県気仙郡のけせんプレカット事業協同組合に、燃料電池フォークリフト用として、国内の林業・木材業界では初となる水素発生充填装置「シンプルフューエル」を導入しました。

今回のプロジェクトは、環境省による「再生エネルギー等を活用した水素社会推進事業」の一環で、水素を発生させるための電力は自然エネルギーから確保し、さらに湧水を利用することで、二酸化炭素をはじめ環境負荷物質を一切出さない画期的なプロジェクトです。TMXでは「シンプルフューエル」はもちろん、太陽光パネルや電気供給設備も導入いたしました。

TMXはLPガスを中心としたエネルギー事業を展開する中で、10年前から新規事業として「水素エネルギー事業」への取り組みを開始し、その後、水素ステーションに導入する水素発生装置の開発を進めてきました。幾多の困難にぶつかりながらも、米国企業と提携して「シンプルフューエル」の日本仕様での設計・開発に注力し、この度環境省の評価・支援もいただき、念願の初導入を実現しました。

今後もTMXは、環境にやさしいクリーンな「水素エネルギー事業」を通じて、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

グループ会社の紹介

医療・生活・科学産業グループ



メーカー商社として、セキュリティシステム事業、デジタルインカム事業を通じ、社会の安心・安全に貢献

基本情報

設立	1995年10月12日
本社所在地	東京都中央区京橋2-2-1京橋エドグラン
事業所	東京本社、技術センター、他全国20支店 (※2018年6月西東京支店開設)
代表者	代表取締役会長 加藤 三四郎 代表取締役社長 金 元鏞
資本金	1億円
社員数	196名(2018年3月末)

株式会社ティービーアイ(以下、TBE)は1995年に創業以来、セキュリティシステム事業を中心に事業展開し、デジタルインカム事業をはじめとした新規事業にも積極的に取り組んでいます。

TBEは、技術力を持ち、マーケットの声を製品づくりに反映させ、メーカーの立場で品質に責任を持つ特性から、自らを「メーカー商社」と呼んでいます。この特性を生かし、現場調査から提案、設計、設置、アフターサービスに至るまでのトータルサービスにより、様々なニーズに対してソリューションをスピーディーに提供できることを強みとして、お客様に選ばれてきました。

2016年には監視カメラにおいて自社ブランドである「TB-EYE」を立ち上げ、より一層の品質向上と多種多様なニーズへの対応力強化を進めております。

セキュリティシステム事業



デジタルインカム事業



また、本年セキュリティシステム事業におきまして、「AIソリューション」の提供を開始します。

TBEの持つ豊富な商品群と長年培ってきた機器の設置・設定等の現場力に「AI技術」を加え、これまでの監視カメラでは解決できなかったお客様の課題を解決し、社会の安心・安全に貢献してまいります。

AIソリューションについて

監視カメラの映像から、「AI技術」が有する各機能によって、様々なシーンでの課題解決が可能です。

以下、一部ご紹介いたします。

機 能	ソリューション例
顔 認 証 : 事前に登録した人物の検知	ブラックリスト、VIPの人物の特定
ア ラ ム 検 知 : 不審者、特定対象物などの各種検知	禁止エリアへの侵入者の検知
ス マ ー ト 検 索 : キーワードによる簡単検索	「赤い服を着た人」など特定条件での検索
車 番 認 証 : 事前に登録した車番の車検知	ブラックリスト、VIPの車の特定

グループトピックス

国内グループ **東京貿易マシナリー株式会社**

シンガポール支店開設

2017年10月2日にTOKYO BOEKI MACHINERY, LTD. SINGAPORE BRANCH (シンガポール支店) を開設しました。

シンガポールは東京23区ほどの面積の小さな国ですが、東南アジアの中心に位置する国際都市として発展を続けています。当社の多くのお客様もシンガポールに石油・ガスのターミナルを所有しており、最近では日本国内のお客様である電力・ガス会社も進出し、人材・金融・物流・情報が集まる重要な中継拠点となっています。

そのような場所に進出する意義を深く認識し、海外向けローディングアームの販売拠点として、さらに他事業部とのコラボレーションに寄与する支店となるよう努力してまいります。



オフィスビル外観

国内グループ **東京貿易マシナリー株式会社**

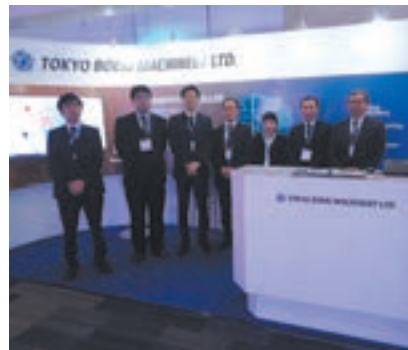
「HVAC&R Philippines2018」等への出展

2018年1月6日から9日、「HVAC&R Philippines2018」がフィリピンのマニラにて開催され、当社からは吸着式冷凍機を出展しました。この展示会は、同国での省エネ・創エネ・エネルギーマネジメント技術が出展されるフィリピン最大の冷熱ビジネスの展示会です。フィリピンはASEAN諸国の中で電力料金が最も高額であり、吸着式冷凍機の導入メリットは大きく、省エネ意識を持つ食品業界のユーザー、空調関係のエンジニア、コンサルタント、政府関係者、ディベロッパーの方など、多数ご来場いただきました。

また、2月1日と2日には、「川崎国際環境技術展2018」が川崎市のとどろきアリーナにて開催され、こちらも当社から吸着式冷凍機を出展しました。この展示会は製品の展示だけでなく、出展会社同士のビジネスマッチングの場も設けられており、多くの会社に東京貿易グループの多種にわたる事業展開と海外ビジネスのノウハウに興味を持っていただくことができました。

※吸着式冷凍機：

吸着剤にシリカゲル、冷媒に水を使用し、工場施設等で生じる低温度の廃熱を利用して冷水を生成することができる冷凍装置。高いエネルギー効率を持ち、吸着・脱着に用いられる媒体の環境負荷が小さいことから、省エネかつクリーンなエネルギーの活用が可能。



「HVAC&R Philippines2018」出展ブース

国内グループ **東京貿易エンジニアリング株式会社**

長岡工場 新事務所棟建設工事 地鎮祭

2018年3月13日に長岡工場において新事務所棟建設工事の地鎮祭が滞りなく行われました。新事務所棟は事務所機能および厚生機能を備えた総合事務所で、完成後は社員満足度の向上・お客様対応の改善が期待されます。

竣工予定は2018年10月末で、12月末までには新事務所棟に全業務を完全移行する予定です。



地鎮祭で記念撮影

国内グループ 東京貿易メカニクス株式会社

「第14回国際水素・燃料電池展 (FC EXPO2018)」等への出展

2018年2月28日から3月2日、東京ビッグサイトにて「第14回国際水素・燃料電池展 (FC EXPO2018)」が開催され、当社からはシンプルフューエルと三段式水素圧縮機を出展しました。この展示会は世界最大の水素・燃料電池展で、当日は日本のみならず、欧米、アジアなど世界中からの来場者でにぎわい、水素社会の実現に向けた世界的なニーズの高まりから当社製品の可能性を感じることができました。

また、2017年11月14日には、アクティ徳島にて「水素グローバルエキスポinとくしま」が開催され、こちらも当社からシンプルフューエルを出展しました。徳島県は「徳島県水素グリッド構想」を策定するなど、先進的かつ活動的に水素社会の実現を目指しており、当日は県内外からの多数の事業者が来場し、盛況のうちに幕を閉じました。



「第14回国際水素・燃料電池展」出展ブース

国内グループ 東京貿易テクノシステム株式会社

新製品 (「Laymatic MILL-X」「V7」) の発売と納品

2018年3月、新型モデル加工機「Laymatic MILL-X」の1号機が大手自動車メーカーに納入されました。スピード・パワー・性能ともに高く評価されており、今後も更なる販売拡大を目指します。

また、主力商品の一つである三次元測定機「ベクトロン」についても、新型「V7」が2018年4月11日の製品発表に先立ち、3月に大手自動車メーカーに納入されました。こちらも今後、本格的な販売拡大に取り組んでまいります。



Laymatic MILL-X



V7

国内グループ テービーテック株式会社

自社パッケージソフトの販売開始

当社では、新たな基幹産業構築のために従来より開発に注力してきた自社パッケージソフトについて、今期より本格的に販売を開始いたしました。当社が提供する設備保全システム・在庫管理システム・生産管理システム等は、「低コストでシンプル設計、業種を選ばずカスタマイズ可能」となっており、おかげさまで製造業に限らず、全国各地の様々な業種から引き合いをいただいております。今後も業界・業種を問わず、様々なお客様のニーズに応えられるよう、パッケージに限らず、AI、IoTの活用などによる新たなITソリューション提供に積極的に取り組んでまいります。



様々な自社パッケージソフトのラインナップ

国内グループ 株式会社ティービーアイ

「SECURITY SHOW 2018」への出展

2018年3月6日から9日、東京ビッグサイトで開催された「第26回セキュリティ・安全管理総合展『SECURITY SHOW 2018』」に出展しました。

同展示会は、防犯カメラや入退管理システム、ホームセキュリティなど、社会の「安全・安心」を実現する最新の製品・サービスを紹介する日本最大級のセキュリティ総合展です。今回ティービーアイでは、自社の持つ映像監視システム、音声通話システムと、AIによるSmart Searchなどの最新の技術との融合による、様々なソリューション製品を「見て」「聞いて」「体験して」いただける内容の展示を行いました。

4日間とも盛況で多くのお客様に当社製品を体験していただきました。



「SECURITY SHOW 2018」出展ブース

国内グループ 東京貿易メディシス株式会社

臨床検査機器・試薬・システム展示会「JACLaS EXPO 2017」への出展

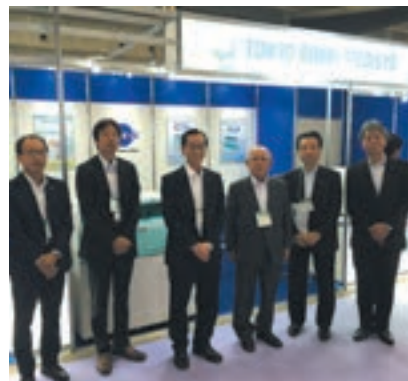
2017年9月に日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会（JACLaS^{*1}）が開催する総合展示会に、当社製品である臨床検査自動分析装置ピオリスシリーズを出展しました。

今回は、2016年に販売を開始し、国内販売が好調で評価も高い「ピオリス30i」と、当社が販売を強化したいと考えている臨床検査情報システム「Medisys Link^{*2}」を中心に展示説明を行い、多くのお客様に関心を持っていただきました。

今後も、開発・営業・サービスエンジニアが一体となって顧客満足度を高め、ピオリスシリーズのブランド力向上を図ってまいります。

※1 JACLaS：臨床検査機器・試薬・システムの情報を医療機関、医療関係者に適切に提供し、臨床検査分野の発展と国民の医療と福祉に貢献することを目的に2014年10月に設立

※2 Medisys Link：病院の検査室で使用され、複数の分析装置とのオンライン連携による検査データの一元管理機能や、病院内外の他システムとの連携機能を有するコンピュータシステム



「JACLaS EXPO 2017」出展ブース

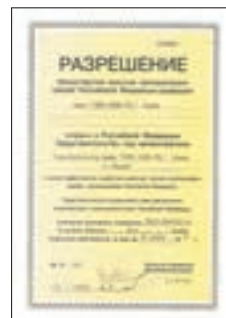
海外グループ TOKYO BOEKI(RUS)LTD.

TOKYO BOEKI(RUS)50周年記念

2017年11月29日、東京貿易（株）〔現 東京貿易ホールディングス（株）〕が日ソ連政府からモスクワ駐在員事務所の正式認可（当時、西側企業で最初の駐在員事務所の認可）を受けてから50周年を迎えました。

東京貿易グループの創立70周年記念日と併せて、50周年記念祝賀会を行い、東京貿易グループの創業からの歴史の紹介、祝辞の披露、また、永年勤続者への功労賞の授与などのイベントを行いました。

今後は、“NEXT 50 YEARS !”を合言葉に、各グループ会社とのシナジーを最大限に発揮し、東京貿易グループのロシア事業の新たな歴史を創造してまいります。



1967年に発行された駐在員事務所開設認可証

国内グループ 東京貿易マテリアル株式会社

中国での新たな耐火煉瓦のOEM生産合意

資材事業において、中国の合併会社と、競争力のある耐火煉瓦のOEM生産を行う事で合意いたしました。このOEM製品を新しい戦略商品として、更なる成長を目指します。また、東京貿易テクノシステム(株)との連携により、三次元測定技術を駆使した耐火煉瓦の損耗状況を測定する付加価値の高いサービスを提供し、生産から販売、アフターサービスまでの一貫した事業化を進めてまいります。



済南魯東耐火3,600トン油圧プレス

日中投資促進機構「第21回日中定期合同会議」に 町田グループ最高顧問が理事として参加

2018年3月20日、中国・北京において、第21回目となる「日中定期合同会議」が開催されました。この会議は、日本企業の対中投資環境の整備およびビジネス上の課題の解決を目的として、日本と中国の投資促進機構が2年ごとに合同で開催する会議で、日本側は豊田章一郎会長を筆頭に総勢約120名が出席し、当社からは理事である町田グループ最高顧問が出席しました。また、会議前日には北京の長富宮飯店にて結団式が行われ、豊田会長挨拶、横井特命全権大使の来賓挨拶があり、閉会の挨拶は町田グループ最高顧問が務めました。

※ 日中投資促進機構：

日本企業の対中投資拡大を通じて、両国の健全かつ安定的な経済関係に寄与することを目的に、日中両政府支援の下、1990年3月に設立。2018年6月現在同機構会長を豊田章一郎氏が務める。



第21回日中定期合同会議

グループ全体の成長に向けた「R&Dセンター」の設置

2017年に70周年を迎えた東京貿易グループでは100周年を目指して、グループ全体の中長期的な成長戦略を担う「R&Dセンター」を、東京貿易ホールディングス(株)内の組織として新設しました。「R&Dセンター」はグループ各社の新規事業戦略のサポート・促進を目的とし、個社単位では対応の難しい新たな事業分野・産業分野についての事業化検討を推進します。グループ各社と東京貿易グループの未来を共に考え、共有し、アクションプランを描きながら、新しい価値を協創してまいります。



R&Dセンターのメンバー

連結グループ会社の概要

国内グループ会社

株式会社ティービーアイ

代表取締役社長：金 元輔

事業内容：CCTVシステム機器の輸入並びに販売

CCTVシステム周辺機器の開発・製造および販売

CCTVシステムの設計、施工およびアフターサービス

東京貿易マシナリー株式会社

代表取締役社長：坪内 秀介

事業内容：流体荷役装置および関連機器・各種プラント関連機器の販売

CIS諸国を中心とした教育・科学技術関連施設向け理科学機器輸出入取引

東京貿易エンジニアリング株式会社

代表取締役社長：今井 広

事業内容：流体荷役装置の開発・設計・製造・販売・アフターサービス

東京貿易テクノシステム株式会社

代表取締役社長：増田 克彦

事業内容：三次元測定機、各種測定機器、各種検査機器、関連ソフトウェアの開発・設計・製造

三次元測定機、関連ソフトウェアの販売・輸出入・保守

東京貿易マテリアル株式会社

代表取締役社長：重住 寛

事業内容：資材・資源・鉄鋼に係る事業開発および輸出入

東京貿易メディシス株式会社

代表取締役社長：岡部 圭治

事業内容：病院、医療検査機関向け臨床検査用自動分析装置の開発・製造および販売

東京貿易メカニクス株式会社

代表取締役社長：坪内 秀介

事業内容：ガス関連機器の販売・メンテナンス

ティービーテック株式会社

代表取締役社長：金井 恭秀

事業内容：受託ソフトウェア・パッケージソフトウェアの開発、ネットワークシステムの構築、

システムアウトソーシング、コンサルタント業務、人材派遣

海外グループ会社

アメリカ合衆国

TOKYO BOEKI NORTH AMERICA, INC. (ケンタッキー)

PRESIDENT：杉原 正章

事業内容：三次元測定機および関連ソフトウェアの販売とサービス

オーストラリア

TOKYO BOEKI (AUSTRALIA) PTY.LTD. (メルボルン)

MANAGING DIRECTOR：重住 寛

事業内容：資材・資源・鉄鋼・機械に係る事業開発および輸出入

中国

東京貿易(中国)有限公司 (上海)

董事長：柳川 博文

事業内容：資材・資源・鉄鋼に係る事業開発および輸出入

東京貿易技研(広州)有限公司 (広州)

董事長：杉原 正章

事業内容：三次元測定機および関連ソフトウェアの販売とサービス

タイ

TBTS(THAILAND)CO.,LTD. (バンコク)

MANAGING DIRECTOR：井ノ山 靖紀

事業内容：三次元測定機および関連ソフトウェアの販売とサービス

CIS

TOKYO BOEKI (RUS) LTD. (モスクワ)

GENERAL DIRECTOR：瀧川 敬司

事業内容：CIS諸国における教育・科学技術関連施設向け理科学機器輸出入販売

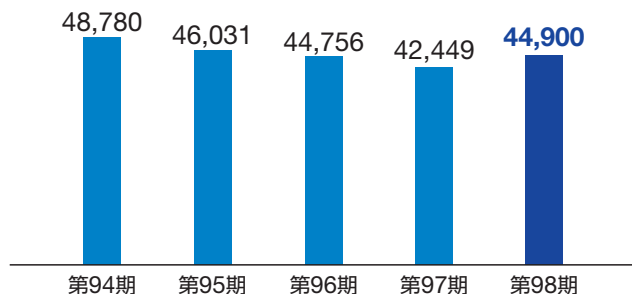
(2018年6月26日現在)

決算の概要

決算ハイライト

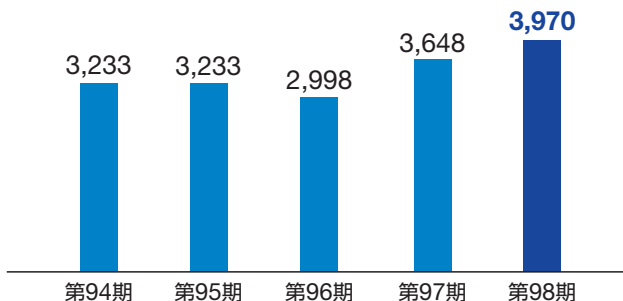
■売上高

(単位:百万円)



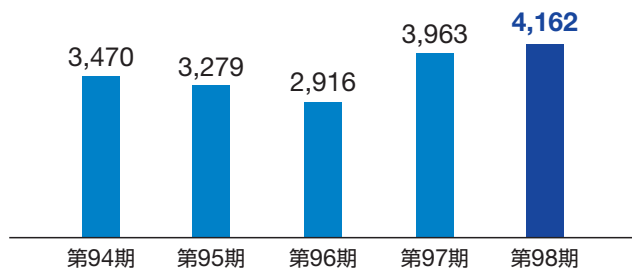
■営業利益

(単位:百万円)



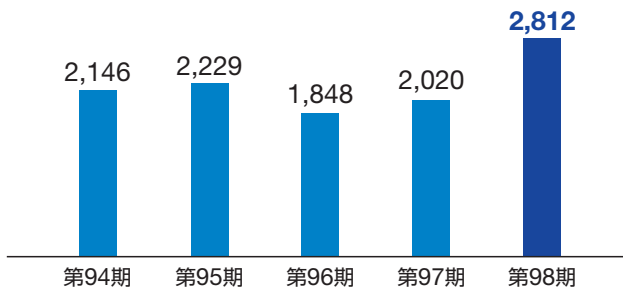
■経常利益

(単位:百万円)



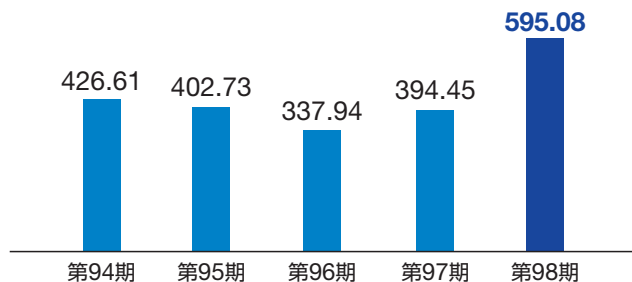
■親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



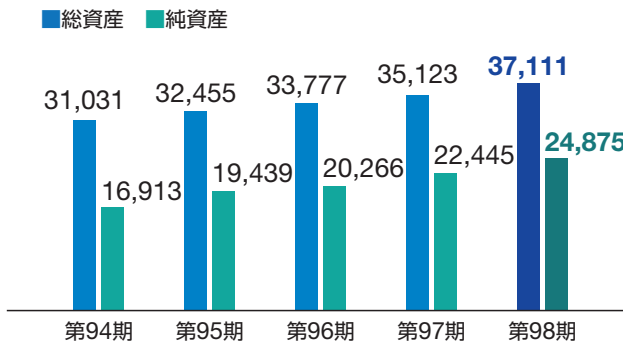
■1株当たり当期純利益

(単位:円)



■総資産/純資産

(単位:百万円)



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期 2018年3月31日現在	前 期 2017年3月31日現在
資産の部		
流動資産	29,547	27,720
固定資産	7,564	7,402
有形固定資産	2,822	2,699
無形固定資産	476	507
投資その他の資産	4,265	4,194
資産合計	37,111	35,123
負債の部		
流動負債	11,250	11,758
固定負債	985	919
負債合計	12,235	12,677
純資産の部		
株主資本	23,889	21,529
資本金	5,000	5,000
利益剰余金	19,453	16,958
自己株式	△564	△428
その他の包括利益累計額	823	771
非支配株主持分	162	144
純資産合計	24,875	22,445
負債・純資産合計	37,111	35,123

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期 2017年4月1日～ 2018年3月31日	前 期 2016年4月1日～ 2017年3月31日
売上高	44,900	42,449
売上原価	30,304	28,760
売上総利益	14,596	13,688
販売費及び一般管理費	10,626	10,040
営業利益	3,970	3,648
営業外収益	331	376
営業外費用	139	61
経常利益	4,162	3,963
特別利益	—	20
特別損失	—	581
税金等調整前当期純利益	4,162	3,402
法人税等	1,341	1,373
当期純利益	2,820	2,029
非支配株主に帰属する当期純利益	8	8
親会社株主に帰属する当期純利益	2,812	2,020

会社概要/株式の状況

会社概要 (2018年3月31日現在)

東京貿易グループ 東京貿易ホールディングス株式会社
及びグループ14社

設立 1947年(昭和22年)10月30日

資本金 50億円(株主資本238億円)

従業員 1,026名

本社(純粋持株会社) 東京貿易ホールディングス株式会社
〒104-0031
東京都中央区京橋2丁目2番1号
京橋エドグラン

東京貿易ホールディングス株式会社 役員紹介 (2018年6月26日現在)

取締役・執行役員

取締役グループ最高顧問	町田 弘
代表取締役社長	加藤 三四郎(富弘)
取締役副社長	坪内 秀介
取締役	坂井 常敏
執行役員	中川 伸吾

監査役

常勤監査役	青木 瑞貴
監査役	沼田 安弘
監査役	前野 秀行

株式の状況 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数 38,519,920株

発行済株式総数 普通株式 4,281,140株
(自己株式を除く)

A種優先株式 1,700,000株

株主数 114名

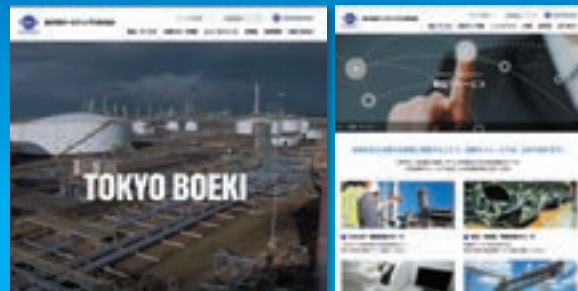
株主名	持株数	持株比率
東京貿易株式会社	1,700千株	28.42%
東貿持株会	623千株	10.42%
東京海上日動火災保険株式会社	498千株	8.33%
トーア再保険株式会社	408千株	6.82%
株式会社三菱東京UFJ銀行	249千株	4.16%
日本生命保険相互会社	120千株	2.01%

※ 東京貿易株式会社の1,700千株はA種優先株式になります。

当社グループ ホームページのご案内

ホームページでは当社の最新ニュースや事業紹介など
様々なコンテンツを掲載しております。

<http://www.tokyo-boeki.co.jp/>



東京貿易グループ

〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目2番1号 京橋エドグラン
TEL: 03-6841-8300 FAX: 03-6841-8388

